

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

初めて参加しましたが、思った以上により刺激を受けました。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

長谷部学長ご自身の研究にも触れた内容の講演を聞くことができ、貴重な機会だと思いました。国立大学が、横浜国立大学が置かれる状況を今一度確認する機会となりました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

教職員が協働して働くことが必要だと改めて感じました。業務にあたる上でも意思疎通を大切にしたいと思います。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A: 新興国を中心とした国際交流の推進 B: 文理融合の研究と教育による人材育成
C: 地域貢献の活性化

新興国から来る学生にとって、日本の魅力は、国大の魅力は何であるか？在學生に新興国、アジア圏にどう目を向けさせるか？がグループで出た内容でした。

より学生にアジアへ興味を持ってもらうには、China Café等、学内でアジア圏から来た学生と日本人学生が気軽に交流できる場を更に提供したり、アジア圏へ留学した学生の体験談を伝える場を設けることが必要だろうという意見が出ました。

留学説明会時のアンケート等を見るとやはり学生から直接体験談等を聞くことは影響が強いようなので、直接話を聞ける場を説明会や、10月に予定される International week 等で設けられたらと思います。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

次回もまた参加できればと思います。ありがとうございました。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった **・良かった** ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

学長、副学長のお考えを伺うことができたこと、また、グループディスカッションでは、テーマについて実際に関わっていらっしゃる先生や職員の方から、現状や今後の課題について様々な意見を聞くことができ、非常に興味深かったです。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

大学の今後について、YNUの特色や強み、弱みを再認識すると同時に、より広く長期的な視野を持って考えていく必要があると感じました。一職員としてまだ未熟ではありますが、まずはYNUについて深く理解することと、今後大学が目指す方向にむけて何が求められるのかを常に考えながら、業務に取り組んでいきたいと思えます。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

研究も事務の仕事も、相手を「納得」させることが基本であり、異なる立場の人と情報とミッションを共有することこそ、真のガバナンスにつながるというお話が印象的でした。目の前の業務だけにとらわれていると視野が狭くなりがちですが、仕事も人と人とのコミュニケーションが大前提であることを意識して取り組んでいかなければならないと改めて感じました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 **A：新興国を中心とした国際交流の推進** B：文理融合の研究と教育による人材育成

C：地域貢献の活性化

【課題】

・マンパワーが足りない→教職員の人数、英語を使える人材が少ないため、新規プロジェクトを実行に移すのが難しい。

・海外からの留学生に対し、サポートが十分でない→学生の力等を有効活用することも視野に入れ、長いスパンで見ても有効な支援を積極的に行うべき。

・本学から海外へ留学する者が少ない→特に新興国に留学するものがない。言葉や安全面、保護者が賛成しない場合、経済的な支援が十分でないこと等が理由として挙げられる。

【解決法】

・より費用対効果の高いプロジェクトを実施する為、特定の分野と対象地域を絞る必要がある。本学の特色や今後の方向性を重視し、教員・職員・学生がそれぞれの立場から関わっていくべきである。

・本学から海外への留学数を増やすため、実体験に基づいた説明ができる教職員の存在が必要と思われる。学生や保護者への情報・安心感を提供し、後押しをする。

・同じ問題を抱える他者・他部署・他大学との関わりを持ち、問題解決の糸口の一つとする。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

今回のように、講演やディスカッションを通じて、様々な立場、経験を積まれた方のお話を伺う機会がもっとあればと思います。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

学長、理事の話を聞ける大変貴重な機会をいただきありがとうございます。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

グローバル、文理融合、ローカルについて、大学の考えていることがわかり大変参考になりました。昔研修で話題に上がったグローカルという単語を思い出しました。また、シルクロード構想というものも初めて聞きましたが、いろいろな動きが世界で起こっていると率直に感じました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

情報共有、迅速な判断、ミッションの提示の大切さを感じました。ただ、個人情報保護もあり、共有できる情報が限られていたり、係を超えて情報を共有することが難しい時代になってきていることも感じております。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》**A**: 新興国を中心とした国際交流の推進 B: 文理融合の研究と教育による人材育成
C: 地域貢献の活性化

新しいプログラムや企画が多数行われている中、教員、職員の人出が全然足りていないと感じております。また、学務担当者において、学生が参加する留学やサマースクールの引率への付き添いなど経験がなく、留学の資料を渡すだけの対応になってしまうことが多く、学生に魅了を発信できる機会が少ないように感じます。もう少し、人出を増やし、教員が海外に学生を引率する際についていく機会など多く作り、学生が窓口相談に来た際、魅力を伝えられるようできればと思います。また、参加した学生や受け入れ学生が、興味を持っている学生に接する機会をもう少し作り、魅力の発信をする機会が増やせればと感じました。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・○非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

これまで出会えていなかった職員や教員の方と話す機会や学長の講演を聞いて参考になった。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

文理融合の取り組みや、それに向けた方策などについて聞いて良かった。また、講演後に学長と少し話す機会を持ててよかった。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

大門副学長の講演は職員の方向けに話されており、私自身は教員なので参考になることがあまりなかった。また、内面に関することや、あいさつをよくするなどの細かな行動よりも、大きな方針や行動について話してほしかった。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成

C： 地域貢献の活性化

B 「研究者マッチングお見合いサイトの構築」についての案が出た。

文理融合の研究と教育による人材育成において問題となっているのは、多種多様にいる文系と理系の先生の情報がお互いに知ることができていないことである。そこで、事前にアンケートやキーワードを入れてもらったデータベースから、月に一通程度、相性が良さそうな組み合わせとなった教員同士にお互いのことを知れるようなメールを自動的に送るシステムを作る。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

教員と職員との関係性がより親密になるような企画。また、教員間でも学部を越えて大学のことを考えられるような企画。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった 良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

普段は事務的な用事以外で会話する機会の少ない大学教職員の方々と様々な意見を交換できるのが新鮮でした。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

大学が行っている取り組みなどを、学生や地域社会に積極的にアピールしていくことの必要性を感じました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

自分の中で理系と文系で溝があるように感じておりましたが、実は共通する部分もあるのだということに改めて考え直させられました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A：新興国を中心とした国際交流の推進 B：文理融合の研究と教育による人材育成

C：地域貢献の活性化

文理を完全に融合することが絶対に正しいわけではなく、例えば一つの分野に特化した人材も社会には必要であると考えています。ただ、大学としては様々な道があることを学生に教えてあげ、選択肢を用意してあげることが必要なのではないかと思います。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

このような場に学生も参加してもらい、意見交換をするのはどうかと思いました。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった 良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

（ 思っていたよりも少人数のディスカッションで全員順番に話をする時間も取れていたし、話をし慣れていない人も意見を言いやすい場となったと思うので。 ）

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

（ 学長の考えをこのような形では初めて伺えたので、改めて大学として目指すひとつの方向を理解できたと感じた。 ）

理・文・教がひとつのキャンパスに集まっている状況を活かした教育や研究につなげていきたいと思う。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

（ 「納得」がなければいけないというまとめ方はなるほどと思った。 ）

ひとつひとつはそれぞれの立場で確かに意識していることではあるので、これを全体として統一して結果を形に表すとき、自分がどのような立場で参加できるかを意識したいと思う。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成

C： 地域貢献の活性化

（ 文理の何を融合するのか。科目・運営的なものなど。 ）

現行の他学科科目の受講に伴う単位取得はひとつの文理融合の形といえるのではないかなど。

など。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

（ このアンケートの項目が試験のような、まるで試すかのようなものであるのが気に障る。 ）

申し込み時の対応にも気になることがあったので今後の改善に期待する。

学長と直接意見交換できる場などが設けられると特に参加したいと考えている。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

・若手事務職員のみならず、若手教員の参加があったことがとても良かった。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A：新興国を中心とした国際交流の推進 B：文理融合の研究と教育による人材育成

C：地域貢献の活性化

文系と理系の教員のマッチングが大切であり、その具体的方法（お見合いシステム）についてもアイデアが出され、とても有益であった。

今回は、大学全体の戦略に関わるテーマであり、とても興味深かった。今後とも、このような大学マネジメントや戦略に関するテーマ設定にも、取り組んでいって欲しい。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

1. 毎回のことだが、ディスカッションの時間が短すぎる（今回は25分程度）。運営上工夫する必要があると考える（議論が深掘りできないのでつまらないと感じて、出席を躊躇する人もいないか）。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった 良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

長谷部学長と大門副学長はもちろん、ディスカッションでの先生方のお話など、普段はお話を聞く機会があまりない方のお話を聞くことができる機会がもてたため、非常に勉強になりました。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

長谷部学長の目指すYNUについて、今まではキーワードしか存じ上げなかったのですが、今回より深く理解することができました。今後は「どのようにしたらYNUの強みを活かして、大学の目指す方向性により進めることができるのか」という視点を業務に取り組むうえで入れていきたいと思います。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

相互に納得するためにはお互いの努力（情報とミッションの共有・意思疎通）が大事ということが印象的でした。日常の業務では「何をするか」を教わり、それ以上聞かないこともあったのですが、今後もう一步踏み込んで「なぜそうなのか」をうかがい、仕事への方向性などを共有していくよう努めていきたいと思います。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的に記入ください。

《テーマ》 A：新興国を中心とした国際交流の推進 B：文理融合の研究と教育による人材育成
C：地域貢献の活性化

グループでの意見：

- ・教育面での「文理融合」は受験生に魅力を伝えるためにはミッションを明確にする必要がある。明確にしないと分野で学べることがイメージがつきずらいため。
- ・また、状況によって「広く浅く」学んだ人材と「狭く深く」学んだ人材のどちらがより活躍できるかは異なるため、学生自身に選択できる余地を残しておく必要もあるのではないかと。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

これまで準備いただき、ありがとうございました。今回はじめて参加させていただき、普段ない視点を得ることができて、大変勉強になりました。職員だけでも部署によって視点は大きく異なると思うので、今後も様々な方と話す機会を通して、YNU全体としてYNUのことを考えられる場を作っていただけましたら幸いです。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった 良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

普段聞くことの出来ない学長、副学長の話が直接聞くことができ、非常に勉強になった。またディスカッションでも他部署の事務職員、教員などの方と話し合うことができたため、前よりも本学についての理解を深めることができた。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

元々本学は留学生が多く、多様性に富んだ大学だと認識しているが、グローバル新時代となり、今後さらに多様な人材が集まることが予想される。そのため、業務を行う際にも画一的な対応ではなく、臨機応変かつ分かりやすい対応をする必要があると考えた。また多様な考え方をぶつけ合うことで、より良い意見が期待できると思う。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

教員と事務職員の業務で「納得」という共通点があると話を聞き、今までは全然別のフィールドだと考えていたため、少し教員の方に親近感がわいた。情報共有・迅速な判断・ミッションの提示が重要との話を聞き、すぐにでも業務に活かせる内容なので、普段の業務に取り入れていきたいと考えている。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成

C： 地域貢献の活性化

理系教員は技術には長けているが、その技術のニーズを把握するなどは文系教員の方が優れている傾向があるため、共同で研究を行う価値はあるが、現状ではホームページの情報量も教員によって違いがあり、共同研究のパートナーを見つけることは困難との意見があった。、それに対し、本グループではお見合いサイトのようなマッチングサイトを作成する案が出た。これはマッチングシートに各教員の情報（研究内容、研究費、共同研究者に求める内容など）を記入すると、自動的にシステムがマッチングする教員を複数提示してくれるという内容だ。実際にマッチングは非常に労力が掛かるとの意見もあったため、その労力を軽減できると考えている。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

今回は時間が押したこともあり、発表時間が減ってしまったため、可能であればもう少し余裕のあるスケジュールだとよいと思った。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった 良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

役員の方々のお話を聞ける貴重な機会となりました。ディスカッションにおいても、部署等の隔たりなく教職員で意見交換できる場というだけで意義があるように思います。ディスカッション時間は少かったかもしれませんが、開始時間が遅れてしまったのも要因かと思えます。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

年度初めの学長挨拶や、ウェブサイト上の内容より具体的に、学長の目指すYNUについて知ることができました。文理融合のところについてはまだ抽象的な説明に感じました。

個人的にも学内外の今後の動向について、今以上に注目しようと思います。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

内容だけでなく話すペースなど、思わず聞き入ってしまうプレゼンテーションに惚れ惚れしました。納得、という分かりやすいキーワードでご講演頂いたことで、自分の中にすんなりイメージが入ってきました。どんな業務も「その対象者」を考慮する事は忘れないように心がけたいと思います。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A：新興国を中心とした国際交流の推進 B：文理融合の研究と教育による人材育成
C：地域貢献の活性化

グループでの意見：

- ・文理融合の教育には「教養を広く浅く学ぶ」「専門分野を極める為に他分野の知識を使う」という二種類の方向があるのでは。いわゆるゼネラリストかスペシャリストか、どちらの方向も目指せる環境を大学側が用意して、学生に選択してもらうようにすることが必要ではないか。
- ・そもそも「文理融合」自体の内容やメリットについて、受験生や在学生に分かりやすく伝える事も重要。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

この規模のイベントを企画する事は苦勞も多いかと思いますが、年1回くらいは、役員クラスの方々を巻き込む方が、教職員へのインパクトも大きいかと思えます。一方で、学内見学などの「ライトな企画」も行えれば幅広い教職員に興味を持ってもらえるのでは。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

講演やグループディスカッションを通じて、横浜国立大学が目指す方向について知ることができて良かったです。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

学長が掲げる「大学が目指す方向」は大きいテーマなので、具体的に自分に何が出来るかというのを一人一人の教職員のレベルにまで落とし込み、すぐにそれぞれが自分の仕事のレベルで目標を見つけるのは難しいと感じました。ただ、目の前の仕事のことばかりで、大学全体のことに関心する機会が少なかったため、学長のお話を直接聞くことが出来たのは、とても良い刺激になりましたし、具体的に自分がどのように関わっていけるか、今後考えていきたいと思いました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

教員と仕事をする際、プロセスや理由が分かるように説明すると、納得してもらえ、スムーズに仕事が進むことが進むことが多いと感じます。「例年そのようにやっているから」という姿勢ではなく、自分も相手も納得出来るような仕事の仕方をしていきたいと思いました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A：新興国を中心とした国際交流の推進 B：文理融合の研究と教育による人材育成
C：地域貢献の活性化

「理系の研究者は技術を高度化させるのは得意だが、社会のニーズをつかんだり、複雑な社会や人に技術を適用させていくのは苦手なことが多いため、その部分を文系研究者に協力して補ってもらいたいと考えているが、どのような研究をしている人がいるのか、どうやって共同研究を始めたらいいのか分からない」という意見がありました。その解決策として、「文理融合のお見合いサイト」のようなものを大学で作成し、それぞれが希望の条件などを登録し、理系研究者と文系研究者のマッチングを行い、文理融合の研究を始めやすいシステムを構築したらいいのではないかと提案が出ました。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

いつも企画・運営お疲れ様です。今回のような講演は、非常に良いと思います。仕事にやる気が出るような講演をまた聞きたいです。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

非常に良かった 良かった 普通 あまり良くなかった 良くなかった

《その理由・感想など》

めったに聞けない学長のお話をお聞きすることができたので。
また、ディスカッションでは、先生やほかの部署の方たちが持っている問題意識を知り、
自分では思いつかなかったような新たな視点に気づけたので。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に
取り組みたいことなどをご記入ください。

国立大学の置かれている現状、また、それに対してどのような方針で大学を運営していくのかと
いうことが興味深かったです。また、グローバル化が進む中、欧米とアジアの違いを挙げて、都市
計画など理工系にも人文社会系の知識が不可欠というところがとても共感できました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分
が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

「納得」というキーワードをもとにお話ししていただけたのですが、異なる立場の人が理解できる
ように、まずは自分自身が仕事内容を理解し、理由等説明できるようにならなければと思いました。
また、あいさつやコミュニケーションをとることで、意見の共有や相談がしやすい状況になれば、
仕事にもいい影響を及ぼしてくれるのだと思いました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決する
ための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成

C： 地域貢献の活性化

先生たちが行っている地域に根差した活動について、組織を通さず、あまり知られていないこと
もあるので (ex.教育人間科学部の先生が県内の小学校の先生と行っている研究会など)、そのよう
なものを HP や広報誌で取り上げて宣伝する、公開講座のニーズ調査を行う、一部の公開講座を
インターネットにアップする、先生が You Tube などにあげている動画を HP の中でリンクをデー
タベース化する、ある組織の委員会の委員の依頼が来たときに、適切な人を推薦できるような組織
づくりをする、などグループ内で提案が出ました。ディスカッションをして、先生はすでに地域に
貢献するような研究を行っているの、それを上手く外へ伝える方法が重要だと思いました。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご
記入ください。

ディスカッションの内容をまとめるために、テーマによっては時間をもう少しあったほうが
助かります。また、他グループの内容を知ることができないのが残念なので、どんな課題が出て、
どんな解決方法が出たのか HP に掲載する等していただくとありがたいです。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった 良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

他の分野の方お会いできる機会となり、とても勉強になりました。今後もこのような交流の機会があると嬉しいです。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

現在、未来の国立大学に求められているものを把握し、取り組んでいきたいです。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

若手教員に向けてのお話もいただき良かったです。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 C： 地域貢献の活性化

いろんな分野の方とタグを組んでプロジェクトを企画をする際に、交流会や出会いの場をどのように持つかを話し合いました。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

時間の関係なのは承知しているのですが、質疑応答の時間が少なかったのは残念でした。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

◎非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

若手職員と教員がともに今後のYNUの方向性について議論できたこと

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

YNUのビジョンを明確に示されたこと

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

チャレンジ精神の重要性

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A：新興国を中心とした国際交流の推進 B：文理融合の研究と教育による人材育成

◎：地域貢献の活性化

- ・横浜・神奈川という地域をもっと良く知るため、職員も地域のさまざまな活動に積極的に参加する。
- ・地域実践教育研究センターの地域課題実習に職員が参加し、学生と一緒に地域課題に取り組むという方法のあるのではないか。
- ・職員の場合、勤務時間の都合があるので、職員研修の一部として、地域課題実習に参加するといった仕組みも考えてよいのではないか。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

若手職員のアイデアに期待します。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

- ・非常に良かった 良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった
《その理由・感想など》

なかなか直接は聞くことのできない学長・副学長のお話を聞くことができましたし、学びひろばが開催されるたびに気持ちが引き締まりますので、今回も参加して良かったと感じています。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

「(横浜国大の歴史を)ふり返り、強み弱みを明らかに」というお話が印象に残っています。これから横浜国大を国内外にアピールしていくためには、まず強み弱みを明確(強みを強調、弱みは課題)にする必要があると思いますし、「横浜国大ってどんな大学だったっけ?」ということをもう一度調べてみようと思いました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

先生が事務方に対して「毎朝目を見て挨拶をしてほしい」とご要望を出されたというお話が印象的でした。

私のいる理工の総務・会計系フロアには、そもそもあまり人は来ませんが、たまに人が来ても、パソコンの画面とのにらめっこが続けがちで、外部の人にとっては「とても気軽に入れる」という雰囲気とは少し言い難いかもしれないと感じています。私も含めてですが、朝の挨拶もなんとなく部分が否めませんので、元気に挨拶するところから改善できるのかもしれないと思いました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A: 新興国を中心とした国際交流の推進 B: 文理融合の研究と教育による人材育成

C: 地域貢献の活性化

【課題】

- ・普段から横浜に貢献しているか?
- ・外(横浜国大周辺、横浜市内)を歩く機会が少ないのではないかな?
- ・教員、学生、職員と一緒に活動する機会が少ないのではないかな?

【提案】

- ・保土ヶ谷区や横浜市と協定があるのだから、横浜の良さを発信していくのが良いのではないだろうか(美味しいお店等の情報があれば、受験者数や来訪者数が増えるのではないかな)。
- ・職員が、地域交流科目に参加(研修と履修?)し、教員と学生とともに田植えや芋ほりをする(職員も地域の中に入って行く)。
- ・さまざまな人を巻き込んで、横浜市内を走る(足、自転車)機会を設ける。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

ディスカッションの時間をただ延ばせば良いというものではないと思いますが、可能であれば、ディスカッションの終わりを、もう少し区切りの良いものにできないか、考えてみたいです。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

自ら考えるガバナンス、(組織が) 納得するガバナンス、各事業の方向性などのお話が印象に残りました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

組織内の風通しを良くするための工夫などのお話が印象に残りました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A : 新興国を中心とした国際交流の推進 B : 文理融合の研究と教育による人材育成

C : 地域貢献の活性化

(1) 本学における現状及び課題について

国立大学には、法人化に伴って生じた第三の使命、複数の法定業務規定改正による要請や、地域格差などの社会の変化に伴う要請に応えるために、様々な地域貢献に関する課題が存在すると同時に、COCの公募に見られるように組織づくりや組織業務の最適化も課題であるように思われる。

(2) 解決するための提案について

①法人評価指標と運営費交付金配分の相関などのうち地域貢献に関する情報収集、②指標別の関連事業の調査・分析、③分析に基づく学内リソースの最適配分等(業務の負荷分散または分業マネジメント)の検討が必要と思うほか、④シーズ/ニーズの自動マッチング支援システム、⑤社会(地域)貢献・実装に携わる者・組織の一定への評価があると良いと思う。

個人としては、日常の各種関連業務を改善・企画しつつ、次世代へ繋げる努力を継続するほか、組織としては、新たな企画・提案の収集、評価、資源配分が行われると良くなると思う。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

スタッフの皆様、取りまとめご苦労様です。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった 良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

普段接することのない、他部署の方、教員の先生と意見を交換することができよかった。
先輩教職員の意見は大変勉強になりました。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

ローカルとグローバルの接点：グローバルな産業構造の空洞化、郊外住宅の高齢化、自然災害のリスクの高さ、水源・里山の荒廃。これらの問題を、地元と連携して取り組み、コミュニティの再生を図る。教員と学生と地域貢献について話す機会を持てるような企画を考えたい。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

プロセス、理由がわかるようにする。それぞれの足元が一番大事とおっしゃられていました。
また、情報共有、迅速な判断、意思疎通など仕事をする際に重要なことを教えていただきましたのでこれらのことは、どんな時でも忘れないようにしたいと思います。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成

C： 地域貢献の活性化

《課題》

地域貢献というと、都市計画、地域経済がメインにあるが、教育系の方たちはどう結び付くのか。
他学部の方との交流がない。ニーズのくみ上げ方はどうする。

《提案》

分野の違う方たちの意見を交わす場を準備する。例：サイエンスカフェ
負担ではなく、取り組む側がわくわくするようなものにする。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった 良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

役員等の変更や第3期中期計画を来年に控えた今、教員と職員が一つになって、組織のトップの考えを聞き、また、課題等を話し合うことは組織全体、そして一人ひとりが同じ方向性をもって歩むためには、とても重要なことだと感じました。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

文理融合キャンパスの実現や東南アジアなどの新興国との連携は本学の目指す方向であり、その実現には、事務職員である我々も言語や文化の違いを理解することが求められているのではないかと思います。グローバル新時代に対応する、職員の個性の発揮が本学の飛躍へと繋がると思いました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

大門副学長が学部長の時におこなったという、挨拶の取り組みについてのお話が印象に残っています。目の前に没入しすぎず、バランスを考えていくこと、広い視野を持つことが大事なのだと感じました。また、挨拶という単純なことではあるが、人と人とのつながりのある業務を行っている我々にとって、コミュニケーションは必要不可欠であり、簡単なことから取り組むことが大事であると再確認しました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A：新興国を中心とした国際交流の推進 B：文理融合の研究と教育による人材育成

C：地域貢献の活性化

まず、教職員は横浜（神奈川）という地に居ながら、横浜（神奈川）を知らない人が多いという意見が出ました。地域貢献をするためには、まず知ることであり、身近なところからできることがあるということ、そして普段からアンテナを張りめぐらせて、いろいろ再発見をしていくべきです。我々は一例として、現在、大学の授業の中で、里山で田植えをするなどの体験があります。学生だけでなく、枠を越えて、大学職員も研修として、参加することは全学的にも良いのではないと考えました。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

- ・ 非常に良かった

・ 良かった

・ 普通

・ あまり良くなかった

・ 良くなかった

《その理由・感想など》

新執行部の若手職員向けのメッセージを聞くことができ良かったです。また、ディスカッションメンバーの中に先生がいたことにより議論に深みが出たことも良かった点かと思えます。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

日本人がどの国で勤務しているか、という発表の中でアジア地域での勤務者が増えていることだけでなく、欧米での勤務者が減ってきている点が印象に残りました。アジアが世界経済の中心になっていく中で本学がアジアに焦点を当てていくのも当然なことであると感じました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

勤務経験の少ない若手職員にとっても、とても分かりやすい内容でした。自身が納得し、相手も納得させる。そのためにはある程度場数を踏む必要もあるかもしれませんが、意志決定にあたっての「納得ライン」の引き方についても学んでいく必要があると感じました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成

C： 地域貢献の活性化

横浜市や保土ヶ谷区など行政との連携や地元企業等と連携を進めていくことはもちろんですが、大学として地域とどのように関わっていくかだけではなく、個人レベルでの地域への参画というのも大事な視点の一つであるとの意見がでました。個人的に地域をまわったり、良いところを見つけ他にアピールするという事は私にとって新しい視点でした。地域が活性化すれば、大学の発展にも必ず繋がると思いますので、さまざまな点から地域貢献を考えていくことが必要だと思いました。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

第1回「学びのひろば」の企画運営、お疲れさまでした。どうもありがとうございました。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

新学長、役員の先生方のお話を直接伺えるよい機会をいただきました。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

学長のお考えの一つの柱である「文理融合」について印象に残りました。

地域実践教育研究センターを例示されておりましたが、こうした学内センターが部局の異なる教員の共同研究の場としての役割をはたしていることが分かり、興味深く思いました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

自分自身や業務に関わる周囲の教職員・学生を納得させる、納得できる仕事をする手立てとして、情報の共有と意思疎通を挙げておられましたが、現状の事務組織においては大変難しいように思いました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成
C： 地域貢献の活性化

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

大変お忙しい中、学びのひろばの企画・運営、本当におつかれさまです。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった 良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

学長や理事から将来ビジョン等を聞く良い機会だったと思います。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

将来ビジョンが少し曖昧であったように感じます。もう少し明確なビジョンがある方が取り組み方も違ってくると感じます。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成
C： 地域貢献の活性化

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

引き続き、良い企画をお願いいたします。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった 良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

学長のお考えを直接に伺えたことが良かったです。ただ、時間が少々短かったです。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

3つのことについて、それぞれに興味深く伺いましたが、具体的に自分が何をすべきか、何が出るかについてはまだ全くの白紙です。現在所属している工学研究院やコースを考えますと、新学長の意味とは全く別の「力学」で動いているように見え、今後にどうしたものか、戸惑いを覚ええました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

主に若い職員向けのお話でしたので、自分自身に当てはまるものが少ないと思いました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A：新興国を中心とした国際交流の推進 B：文理融合の研究と教育による人材育成
C：地域貢献の活性化

時間の都合で不参加でしたが、実際には教員も多数参加していないと議論が浮いてしまうのではと危惧しました。

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

このような集まりは、本来、教員が多数参加しているべきなのに、そうなっていないことが非常に問題だと思います。学長のおっしゃる文理融合など、工学研究院では具体的な話として当方のような末端の教員に全く降りてきていないように思います。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

学長や副学長のお考えを直接聞けるという、滅多にない機会に参加できたことと、他部署の職員の雰囲気垣間見ることができたからです。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

新興国であるアジアとの連携を意識していくというお話、グローバル産業を進める一方で起こる、様々な問題にも目を向け、大学がそのハブの役割となる必要性、というお話が印象に残りました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

「納得」というキーワードでのお話について、私自身仕事で意識している点だったため、上層部の方がそのようなお考えを持たれていることが嬉しかったです。また、「お互いの努力」という点について、今の私にできることは、情報共有をしたい、協力してより良くしたいという意識を持って、学生や教職員と接する事かな改めて思いました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成
C： 地域貢献の活性化

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

真のガバナンス強化というお話の中ででてきた3つのキーワードのうち、「地域」について、グローバルとローカルは必ずしも対立しないという部分が特に印象に残りました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

大学として迅速な判断をするには情報を共有することが重要であり、また、そのためにはコミュニケーションが必要であること等、長谷部学長の講演にあった「ガバナンスの強化」について、より身近な部分から感じることができました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成

C： 地域貢献の活性化

不参加

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

学長と副学長の本学の未来に対するビジョンや職員へ向けたメッセージ等を直接聞くことができたので。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

学長が重視していく施策についてそこへ至る根拠と詳しい説明があったので、その具体的な内容や方向性について実感的に理解することができました。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

ご自身の実体験を交えながらのお話で、目の前の業務だけを見て自己完結してしまうということではなく、仕事というのはどんなものでも常にその先に人がいるのだということを意識するのが大切なのだと感じました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成
C： 地域貢献の活性化

不参加

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

いわゆる一般的なグループディスカッション以外の、創意を感じる企画を期待したいです。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

講演のみの参加でしたが、新役員の学長や副学長から直接お話しを聞くことができ、これからの横浜国立大学の目指す方向等が理解できたと思います。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

“ローカルとグローバルは接点がある”という、規模やエリアが違って、基本的な考え方や進め方は同じとの話が印象に残りました。

私の担当している業務上、直接関われる部分は限られていると思いますが、大学の進む方向をしっかりと理解し問題意識を持ちながら、日々の業務に取り組みたいと思います。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

新しいことを始める場合は特に、関係者を“納得”させることが難しいと思います。

関係者を“納得”させられるよう、プロセス・背景・理由等をしっかり説明できるわかりやすい資料作り、説明の仕方等を工夫して仕事を進めたいと感じました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成

C： 地域貢献の活性化

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

学長、副学長が、それぞれのお立場でどのような考え方をもちなのかという事は、様々な媒体で情報発信されているかと思いますが、広報的な媒体に載せる文章を読むのと、ある程度限られた人数の場で直接お話を伺えるのではだいぶ違うので、今回、色々な事を理解できてとてもよかったです。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

3つのテーマについて、いずれも長谷部先生が以前からよくお話をされている事でしたが、今回こうやってまたお話を伺えた事で、具体的なイメージやその理想像といったものが、自分の中でよりよく理解できてきたように思います。自分の立場で取り組める事、色々あると思っていますので、一つ一つ進めていけたらと思います。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

様々な要素を交えつつのお話で、わが身を振り返れば自分はできていない事が多々ありましたので、反省すべき点を反省し、特に、よくコミュニケーションを取って仕事を進めるという点を、普段からより意識して仕事に取り組みたいと思いました。具体例が多く、とてもわかりやすいお話で、勉強になりました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成
C： 地域貢献の活性化

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

このたびは飛び入りで参加させて頂いてどうもありがとうございました。来週の仕事の状況も読めない事が多く、事前申込にいつもためらってしまっていて、今回のように当日飛び入りで受け入れて頂けると本当にありがたいです。運営的には難しい面もあると思いますが、ありがとうございました。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

学長および副学長が全員入れ替わった今年度第一回目の「学びのひろば」に相応しいテーマだったと思います。しかし、できればグループディスカッションよりも、学長・理事との車座での意見交換（車座集会）形式で行ってみればもっと良かったのかなと思います。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

学長が話していた三つの課題は、役員だけでも成し得ないし、教員だけでも成し得ない。やはり役員、教員、そして事務職員が一体となった取り組みが必要であると感じました。今後、若手の職員から何かを仕掛けて三者を動かすような提案が出ることを期待しています。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

コミュニケーションの大切さは、いまの職場でも感じています。教員や学生とのコミュニケーションはもちろんですが、実は事務職員同士のコミュニケーションが不足していると常々感じています。例えば、学内で名札を下げている者（たぶん事務職員なのでしょう！）が前から歩いて来ます。目があったら挨拶しようと考えていても、目をそらしたまま行き過ぎてしまうことが結構あります。こちらから「ご苦労さま！」とか声をかけられない情けなさもありますが、コミュニケーションについては今後の「学びのひろば」で取り上げてほしいテーマかと感じました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成
C： 地域貢献の活性化

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

大門先生からお話のあったコミュニケーションの取り方、これは長谷部先生が話されていた役員、教員、事務職員のコミュニティーによる大学改革にも繋がることと思います。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・ 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ あまり良くなかった ・ 良くなかった

《その理由・感想など》

普段は日々の業務に追われていますが、このような機会があると、中長期的なビジョン、横国大のあるべき姿をあらためて意識することができ、有意義でした。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

「ローカルとグローバルの結合」「文理融合」の必要性といったキーワードが印象に残りました。グローバル化対応ということで、情報基盤センターで提供するサービスについての説明 WEB ページや申請書類について、まずは「英語」から対応していきたいと考えています。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

キーワードの「納得」という言葉、「それぞれの足元が一番大事」との言葉がとても印象的でした。まずは、自分の業務をしっかりと行なうこと、自分自身が納得した上で行なうこと、相手に何かをお願いするときも、その必要性を納得させるように説明することが大切と感じました。

例えば、私の所属する情報基盤センターでは ISMS 情報セキュリティマネジメントシステムに取り組んでいるため、「セキュリティ」確保のために、利用者の利便性が下がることがあります。これらのことをただ「ルール上、制度上そのようになっている」というだけでなく、何のために必要なのか相手を納得する説明を加えることで、相手が合意の上でセキュリティシステムを回していけるよう、これまで以上に自分と相手の納得を目指そうと思いました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A： 新興国を中心とした国際交流の推進 B： 文理融合の研究と教育による人材育成
C： 地域貢献の活性化

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

ありがとうございました。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

平成27年度第1回「学びのひろば」アンケート

「学びのひろば」にご参加いただき、ありがとうございました。アンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の「学びのひろば」についてあてはまるものを○で囲んでください。

・非常に良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

《その理由・感想など》

自分の業務に直接かかわる事項ではなく、個別の業務よりも少し大局的な事項について、学長・理事の考えを直接伺うめったにない機会だったため。

2. 長谷部学長の講演「大学が目指す方向について」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

「グローバル」というキーワードでの新学長の思いが伝わってきた。

3. 大門副学長の講演「若手教職員へ期待することについて」を聞いて、印象に残ったこと、今後自分が具体的に取り組みたいことなどをご記入ください。

印象に残ったこと：それぞれの足元で「納得」できる、あるいは「納得」してもらうことが重要。

実際にはそれが難しい場面も多々ありますが、「納得」してもらうために努力することは必要だと思います。

最近、「納得」よりも「強引」な方法で仕事ができる人の方がいいのかと気になっていました。

4. 参加したディスカッションのテーマを○で囲み、テーマに関する本学の課題やその課題を解決するための提案について、グループ内で出た内容や自分の考えをできるだけ具体的にご記入ください。

《テーマ》 A：新興国を中心とした国際交流の推進 B：文理融合の研究と教育による人材育成

C：地域貢献の活性化

5. 今後の「学びのひろば」で開催してほしい企画、「学びのひろば」スタッフへの要望など、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。